

コレクション展

都市を描く — 洛中洛外図と名所図会 —

2019年2月16日(土)～3月24日(日)



京都を俯瞰して描いた「洛中洛外図」と、名所を文章と挿絵により紹介した「名所図会」。屏風と冊子、肉筆画と版画というように両者は大きく異なりますが、どちらも近世の都市を説明的に紹介したものと いえます。描かれた都市の諸相をお楽しみください。

《洛中洛外図》(右隻部分)
江戸時代 本館蔵(下村裕氏寄贈)

所蔵作品の貸出

他館への貸出を予定している当館所蔵作品です。コレクション展ではあまり展示機会がない作品もあります。貸出作品の近くへお出かけの際にはお見逃しなく！ 展示期間などの詳細は各施設へお問い合わせください。

米友仁《遠岫晴雲図》(阿部コレクション)ほか 計6件
岡山県立美術館(岡山市)
2018年8月31日(金)～9月30日(日)
「生きてある山水 廬山をのぞむ古今のまなざし
Working Scape: Respect the True Nature of Mt.Lu」

《青磁陰刻牡丹文輪花碗・托》(田万コレクション)ほか 計2件
大阪市立東洋陶磁美術館(大阪市)
2018年9月1日(土)～11月25日(日)
「高麗青磁 — ヒスイのきらめき —」

重文《円型図案集(小西家伝来・尾形光琳関係資料のうち)》
筆の里工房(安芸郡熊野町)
2018年9月22日(土)～11月4日(日)
「筆が奏でる琳派の美」

《池大雅二十五回忌追善会案内状》
鳥取県立博物館(鳥取市)
2018年10月6日(土)～11月11日(日)
「鳥取画壇の祖 土方稲嶺
— 明月来タリテ相照ラス —」

上田公長《芭蕉涅槃図》ほか 計2件
柿衛文庫(伊丹市)
2018年11月17日(土)～12月24日(月・祝)
「どうぶつ俳句の森」

《IHS紋香合》
長崎県美術館(長崎市)
2018年11月23日(金・祝)～2019年1月27日(日)
「クアトロ・ラガッツィ 桃山の夢とまぼろし
— 杉本博司と天正少年使節が見たヨーロッパ」

《扇面藤萩蒔絵螺鈿硯箱》(田万コレクション)ほか 計4件
サントリー美術館(港区)
2018年11月28日(水)～2019年1月20日(日)
扇の国、日本(仮称)
山口県立美術館へも巡回

特別展

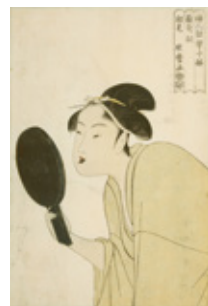
オーバリン大学 アレン・メモリアル美術館所蔵
日本を愛した米国女性 メアリー・エインズワース
浮世絵コレクション(仮称)

2019年8月10日(土)～9月29日(日)



明治後期に来日したメアリー・エインズワースは、浮世絵の美しさに魅せられ、貴重な初期浮世絵をはじめ、鈴木春信や喜多川歌麿の美人画、葛飾北斎や歌川広重の風景画などを収集しました。

そのコレクションは、彼女の出身校であり、1833年の創設以来、性別や人種で差別することなく学生を受け入れたオーバリン大学のアレン・メモリアル美術館に収蔵されています。およそ1500点余の浮世絵コレクションの中から選ばれた約200点で構成する初めての里帰り展です。日本を愛した米国女性の優れた感性により収集された、美しい浮世絵の数々をぜひご覧ください。



上:《富嶽三十六景 尾州不二見原》 葛飾北斎 天保2年(1831)頃
下:《婦人相学十躰 面白キ相 相見》 喜多川歌麿 寛政4～5年(1792～93)頃

◆表紙作品紹介

《観瀑図》(『名賢宝絵冊』のうち) 南宋時代・12～13世紀
本館蔵(阿部コレクション)

阿部房次郎蒐集の中国書画を代表する宋元時代の名品の多くは、清末の大コレクター完顔景賢の旧蔵でした。本作もその一つで、小さな团扇に広大な空間を取り込んだ南宋絵画の逸品です。

大阪市立美術館 天王寺公園内

Osaka City Museum of Fine Arts

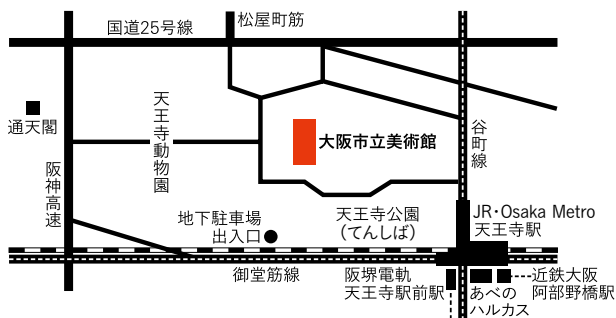
〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82

tel. 06-6771-4874 fax. 06-6771-4856

http://www.osaka-art-museum.jp

開館時間＝9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日＝月曜日(ただし月曜日が祝日の場合は翌平日)



交通案内: Osaka Metro御堂筋線・谷町線、JR「天王寺」、近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」、阪堺電軌上町線「天王寺駅前」下車、または大阪シティバス「あべの橋」下車、北西へ約400m